

WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島

—知っていますか？木を使うことは身近な「花粉症対策」—

開催日程：2026年5月30日(土)11:00～18:00

31日(日)11:00～18:00

※ワークショップの開催時間は別表をご参照ください。

開催場所：THE OUTLETS HIROSHIMA (ジアウトレットヒロシマ) 1階シティコート

主催：一般社団法人日本ウッドデザイン協会 (林野庁補助事業)

開催の趣旨

日本は国土面積の約7割が森林である森林大国です。そのうちの約4割が戦後、人の手で植林された人工林で、さらにその約7割が針葉樹であるスギやヒノキです。現在、こうした森林が樹齢が高くなり、本格的な伐採・利用期を迎えています。いま、日本の人工林は「伐って・使って・植えて・育てる」という森林循環のサイクルを回し、健全な森林を維持することが重要です。

一方、スギ花粉症は国民の約4割が罹患(りかん)しているとも言われ、暮らしや経済にも大きな影響を及ぼしています。スギの人工林等は花粉の発生源であることから、今後、花粉の少ないスギ苗木への植替え等を行うことで花粉症を減らしていくことができると言われています。

こうした背景から、スギやヒノキ材を含めた木材の利用を進め、豊かな森林資源の維持と快適で持続可能な未来の実現を目指すイベント【WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島～知っていますか？木を使うことは身近な「花粉症対策」】を開催いたします。

本会場では、スギを中心に、国産材を使った家づくりを「暮らしのシーン」の展示を通じて、表現しています。通路側の木製の展示ユニットには、花粉症対策の木材利用や木の持つ効果・効能、宮城県における木材利用の事例などを解説・展示しています。

本イベントを通じて、多くの方々に木材を「体験」「実感」「共感」していただき、木材利用の重要性や活用の可能性、木の魅力を再発見してスギやヒノキ材を始めとした木材利用が進み、花粉の少ない森林への転換が進むことを目指しています。

※同イベントは、10月に横浜でも開催予定です。



JWDA
もっと、木と

主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会

<https://www.jwda.or.jp/>

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体(一般社団法人)です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
英文名 Japan Wood Design Association(略称:JWDA)
設立 2021年11月18日
所在地 東京都千代田区大手町1丁目2番1号 Otemachi Oneタワー6階
会長 藤 研吉
会員 201(企業、団体、自治体等、2026年4月末時点)



木材を生活に取り入れて、花粉症対策にも貢献!

我が国の人工林の半数以上は、本格的な主伐期を迎えています。
 この豊かな森林資源を、木材として有効に活用することができれば、
 花粉発生源となるスギ人工林を減らすとともに、そこから得られた収入で、
 花粉の少ない森林への植替えを進めることができます。
 日常生活の中で、より多くのスギ材を利用し、森林資源の循環利用に役立てましょう。



Gywood®テーブル用天板
 ナイス株式会社(神奈川県)

スギの大径材利用

スギ・ヒノキ使用



宇佐市安心院地域複合支所
 株式会社山下設計(東京都) / 宇佐市(大分県) /
 株式会社末宗組(大分県)



少花粉-低花粉スギ ※雄花が少ない



普通のスギ ※雄花が多い

農林水産省 国立研究開発法人 森林研究・整備機構
 森林総合研究所 森林育種センター

Q:住宅にスギ材を使うと花粉症になるの?

A:スギ花粉症はスギ花粉に起因するため、スギ材によって、花粉症になることはありません。



林野庁



ササエさん一家は、
 森林の環(もりのわ)志願団



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD

木造建築がどんどん進化しています ～交流施設、オフィス、集合住宅～

戸建て住宅以外にも、積極的にスギ材等を活用し、用途ごとの付加価値を高め、デザインに優れた、中大規模の建築物が増えています。



豊平地域づくりセンター

株式会社竹中工務店(広島県)

緑豊かな山々の連なる広島県北広島町に建つ木造平屋の公民館。まちの風景をモチーフに広島県産材の木架構に山並みのような屋根をかけた構成とし、人々が共に暮らす豊かさを享受できる地域の交流拠点をめざした。その佇まいは、小さく軒を連ねてまちの風景と調和しながら、遠く山並みの稜線にも呼応している。



ひろしまゲートパーク

NTT都市開発株式会社(東京都)／大成建設株式会社(東京都)／広島電鉄株式会社(広島県)／株式会社中国新聞社(広島県)／株式会社広島バスセンター(広島県)

旧広島市民球場の跡地に計画された、大庇を持つ木造商業施設とイベント広場一体のPark-PFI。街の賑わい創出と回遊性向上のために、この地の歴史と機能を継承し日常的に広島市民の憩える場所が街の活性化に必要と捉えた。そこで市民が「オソト」を楽しみたくなる居心地のよい木のテラスを備えた商業施設を計画した。



ジューテック本社ビル

鹿島建設株式会社(東京都)／株式会社ジューテック(東京都)／住友林業株式会社(東京都)

地震水平力・経年変位・耐火性能などの木造の課題解決に対し3ブロックで構成とした。純木質耐火集成材「FRウッド」を多層型建築の主要構造部に初めて適用した。



PARK WOOD 高森

三菱地所株式会社(東京都)／株式会社竹中工務店(東京都)／山佐木材株式会社(鹿児島県)／田島山業株式会社(大分県)／齋藤木材工業株式会社(長崎県)

仙台市泉区にある、CLTを床材として使用した日本初の高層10階建ての建築物。RCスラブやRC耐震壁をCLT化した集合住宅であり、構造性能や耐火性能、居住性、生産性を高める木造技術を検証し完成した。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD

木造建築がどんどん進化しています ～店舗、宿泊・飲食施設～

地域の歴史や文化と結びついた、スギ等の地域材を活用した、魅力的で居心地のよい空間を実現した建築物が全国で生まれています。



和オーベルジュ神等楽来

MAMM DESIGN 一級建築士事務所(島根県) / 株式会社
天童木工(山形県)ほか

人と人の出会い(=縁)を表現する島根県産のスギ材の曲げ木による格子の意匠と、木材の屋外利用に伴う劣化防止を、圧密浸漬処理を施した成形合板により実現。



御福餅本家本店

清水建設株式会社(愛知県) / 株式会社御福餅本家(三重県)

老舗和菓子屋の地元産スギ材による内外装、什器家具などの素材選定や建物配置・構成により、地域に適した景観を形成・継承し、地域の賑わいを再生させる。



NISHIGAWA TERRACE

有限会社ティーハウス(岡山県) / 竹下和宏建築設計事務所(岡山県) / 株式会社木下洋介構造計画(神奈川県) / 株式会社ミナモト建築工房(岡山県)

岡山市中心部、西川緑道公園に面する敷地に計画された循環をコンセプトとした木造複合施設。岡山県産ひのきを積層した接着重ね材による1方向ラーメンで、周辺の景観と連続する透明な空間を実現。雨水循環で緑化されるテラリウムを中心に据えた門構えの構成で、都市の中心で森や水・緑の恵みに触れられる建築とした。



小浜ヴィレッジ

株式会社住まいず(鹿児島県) / 株式会社フジワラテッペイアーキテクトラボ(東京都)

11代にわたって林業、製材業を行ってきた地元工務店による完全民設民営のまちづくりプロジェクト。7つのオフィスと6つの店舗による新しい複合生活拠点である。建築家・構造物家・家具デザイナーなどと協同し、躯体、内装材、外構等あらゆる場所でのチャレンジングな県産木材の使い方を試みた。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD

木造建築がどんどん進化しています ～こども園、学校、大学、屋内遊び場～

地域のスギ材等を活用して、子どもが安全に伸び伸びと学び、遊べる施設や
集中力やコミュニケーションを高める空間の人気が高まっています。



なぎっ子こども園

楠山設計・マウントフジアーキテツスタジオ特定建設関連業務委託共同体(東京都)／奈義町(岡山県)／梶岡建設株式会社・株式会社森藤工業特定建設工事共同企業体(岡山県)／多田修二構造設計事務所(東京都)／有限会社EOS plus(東京都)／株式会社未来設計(東京都)

奈義町に建つ0～5歳児対象の幼保連携型認定こども園。木屋根が立て掛かりあうことで、長さ100mほどの通り状の空間「なぎみち」が中心に生まれ、それを挟み込むようにひだ状に、保育室や遊戯室等を配した。「なぎみち」は子供の自発性を発露する空間であると同時に、保育室に収まらない活動を補完する空間でもある。



岡山大学 共育共創 commons (OX:オクス)

清水建設株式会社(東京都)／国立大学法人岡山大学(岡山県)／株式会社隈研吾建築都市設計事務所(東京都)／銘建工業株式会社(岡山県)

岡山大学において、「地域の産業活性化のための新たな交流と共創の場」として計画された。岡山県の地域産業である木質材料CLTを活用し、適用拡大に向けた技術開発により、CLT建築の新たな可能性を体現する建物とした。計画～運用段階を通じた情報発信により、学生や地域、企業が地域産業を体感する空間を実現した。



昭和学院小学校ウエスト館

株式会社日建設計 | Nikken Wood Lab(東京都)／学校法人昭和学院(千葉県)

生徒増員に伴う増築計画。既存校舎との連絡レベル及び風致地区における高さ制限を考慮し、階高・建築高さを最小化しながら天井高さを最大限確保するため「CLT 2方向フラットスラブ」を採用した。準耐火構造設計によりCLTをあらわしとし、木育サインを施す等、子供達が自ら環境について考える場づくりを目指した。



シェルターインクルーシブプレイス コパル (山形市南部児童遊戯施設)

株式会社シェルター(山形県)／山形市(山形県)／大西麻貴+百田有希/o+h(東京都)／株式会社高木(山形県)／合同会社ヴォーチェ(山形県)／特定非営利活動法人 生涯スポーツ振興会(アブルス)(山形県)

山形市の子育て環境整備の一環として建てられた児童遊戯施設。「障がいの有無や、人種、言語、家庭環境に関わらず、多様な個性や背景を持った全ての子どもたちの遊びと学びの場」という基本方針を持つ全国的にも数少ないインクルーシブ施設で、蔵王連峰の美しい山並みに呼応する雲のような佇まいが特徴的。

木の持つ人への効果・効用が 明らかになっています

WOOD DESIGN LIBRARY

(ウッドデザイン・ライブラリ)

2024年4月、一般社団法人日本ウッドデザイン協会(JWDA)調査研究部会が主催してデータベース・データポータル「WOOD DESIGN LIBRARY」を設立公開しました。

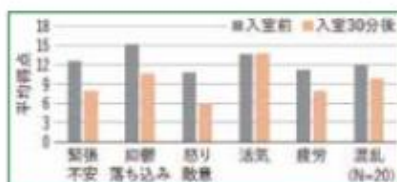
WOOD DESIGN LIBRARYとは

木について知りたい、木を活かして何かしたい、使いたいと思った方々が、直感的に木に関しての知識を得ることができるデータベース/データポータルです。



「WOOD DESIGN LIBRARY」より

木質化空間に在室した後、緊張や疲労感が緩和されたとの報告があります



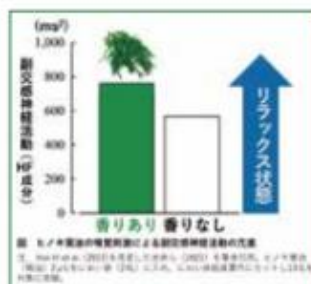
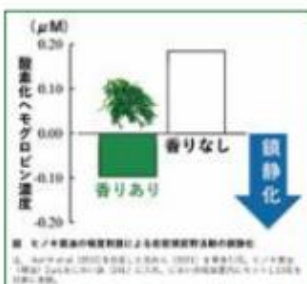
壁2面がスギ板張りで2面がビニルクロス貼りの空間と、壁4面がビニルクロス張りの空間を用意し、短時間の精神的労作を終えて入室30分後の心理的指標POMS値※を確認したところ、木質化空間では、緊張、抑鬱、怒り、疲労及び混乱の項目で平均得点が有意に低下しました。

またポジティブな心理を表す「活気」は、木質空間ではわずかに上昇し、ビニル空間では低下していました。木質化空間による疲労感やストレスに対する緩和効果が確認された理由としては、スギ材の視覚から得る「心地よさ」、あるいはスギ材の発する「芳香」の影響と考えられます。

※気分を評価する質問紙法のひとつ



木材の匂いが、心にも体にもリラックス効果があることが分かってきました



木材の香りは、心身にリラックス効果をもたらし、血圧低下などの生理的効果も確認されています。木が放出するフィトンチッドと呼ばれる揮発性物質には、心理的リラックス効果や免疫機能の向上作用があります。特にテルペン類と呼ばれる有機化学物(例: α -ピネン、リモネン)は、リラックス効果が確認されています。また、森林の香りが人間の生理的ストレスを軽減し、自然環境に近い状態を思い起こさせることが、リラックス効果につながっていると考えられます。





木材を使うことは 環境に良い効果があります



一般社団法人ウッドデザイン協会は2024年4月、林野庁よりJapan Wood Label及びWood - Carbon Labelの管理団体として認定を受け、同年12月より運用を開始しました。

これらラベルは、製品・空間・建築物などが、木材の適切な活用を通じて、カーボンニュートラルの実現や森林の循環利用に貢献していることを可視化し、広く周知するために作られました。現在、木材を活用したオフィス、商業施設、公共施設などといった建築物や空間、木材を使った家具や小物といった製品などでもラベルが使われ始めています。

珠洲市DLT恒久仮設木造住宅9棟
および集会所

建築面積 1118.8㎡
延床面積 933.1㎡
完成時期 83%

739t-CO₂

木質比率 39.95%
木質比率 14.2%
木質比率 0.268m³

**Q Japan Wood Label
Wood Carbon Labelってなんですか？**

Japan Wood Label(以下、「JWL」)は、日本の木を使っている建築、空間、製品を判別するためのマークです。
Wood Carbon Label(以下、「WCL」)は、木を使った建築、空間、製品がどのくらいの炭素を貯めているのかわかってもらうためのマークです。

**Q これらラベルを使って
私たちができることは何ですか？**

ラベルにより確認した情報をもとに木を使った建築物や製品を選択して、高く使ってもらうことで炭素社会実現のための取り組みに気軽に参加してもらえます。

Q ラベルはどのように開示されますか？

表示する方法は様々です。認定されたものに直接、シールや烙印にて開示したり、紙媒体のパンフレットやプレスリリースに表示したり、ウェブサイトなどで電子的に開示したりすることも可能です。

**Q 炭素を貯蔵する性質とは
どんな性質ですか？**

木は二酸化炭素を吸収し、光合成を通じて炭素を中に貯蔵し、酸素を出します。
貯蔵された炭素は、木が伐採されて木材となり建築物や製品に使用されても空気中に放出されません。



**Q 国産材を使うことは
どういった効果がありますか？**

日本の森林の約4割を占める人工林は高齢化しており、「伐って・使って、植えて、育てる」という森林循環が必要です。これにより健全な森林が保たれ、自然災害の防止や二酸化炭素吸収につながります。
またスギ・ヒノキ等の伐採と利用、花粉の少ない苗木への植え替えは花粉症対策にもつながります。



ワークショップ開催のご案内

木を使った楽しいワークショップがたくさん！
参加方法や時間についてはワークショップ受付へお尋ねください。

30日(土)・31日(日)開催



●箸づくりワークショップ【Bコーナー】

ヒノキ・コシアブラなど数種の木から選んで小刀で自分だけの箸を作ります。

対象:高校生以上 所要時間・参加費:各回70分(参加800円)

【担当】五十六製作所

5月30日(土)11:00~17:20で4回実施 1回あたり先着6名

5月31日(日)11:00~15:50で3回実施 1回あたり先着6名



●おむすびキーホルダーづくりワークショップ【Cコーナー】

ヒノキでできたおむすびのかわいいアクセサリのキーホルダーを作ります。

対象:4歳以上 所要時間・参加費:各回30分(参加1,000円)

【担当】一場木工所

5月30日(土)11:00~18:00で8回実施 1回あたり先着8名

5月31日(日)11:00~13:10で3回実施 1回あたり先着8名



●スギ木目アートコースターワークショップ【Dコーナー】

数種類の形に切った、スギ板の木目に添ってペンで色付けをしてコースターをつくります。

対象:どなたでも 所要時間・参加費:各回15~20分(参加無料)

5月30日(土)11:00~18:00(終了)で随時受付 1回あたり先着8名

5月31日(日)11:00~17:00(終了)で随時受付 1回あたり先着8名

30日(土)開催



●アロマスプレー制作ワークショップ【Aコーナー】

スギの枝葉などを蒸留したアロマオイルとレモンなどを調合して、

自分好みのアロマスプレーを作る体験です。

対象:どなたでも 所要時間・参加費:各回20分(参加費500円)

【担当】薬剤師兼アロマセラピスト白石須万子氏

5月30日(土)11:00~18:00で12回実施 1回あたり先着8名

31日(日)開催



●かなりボンコサーージュづくりワークショップ【Aコーナー】

ヒノキ・スギのカナナ屑をつかってバラ型のコサーージュを製作します。

対象:小学生以上 所要時間・参加費:各回40分(参加費1,000円)

【担当】一場木工所

5月31日(日)11:00~16:40で5回実施 1回あたり先着8名



●成り立ちBOXワークショップ【Cコーナー】

成り立ちBOX(木育キット)を使った伐採から木工までを知る体験ワークショップです。

ヒノキの箱に丸太輪切り、皮をむいて縦割りしたもの、銘々皿、玉が入っています。

すべての樹木から採れたかのIDが入っています。

対象:小学生以上、1組に1箱 所要時間・参加費:各回60分(参加1,000円)

【担当】FORESTWORKER

5月31日(日)13:30-14:30、15:00-16:00 1回あたり先着8名